

Course number		G-LAS00 80019 LJ44					
Course title (and course title in English)	知的財産 Intellectual Property			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Professor,KITANI TETSUO		
					Part-time Lecturer,KAWABATA TADASHI Office of Institutional Advancement and Communications Abe Hiroshi		
					Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Associate Professor,MATSUYUKI TERUMASA		
					Office of Institutional Advancement and Communications SAGAMI MASAKI		
Group	Common Graduate Courses		Field(Classification)		Social Responsibility and Profitability		
Language of instruction	Japanese		Old group		Number of credits	1	
Hours	15	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・Intensive, First semester	
Days and periods	Intensive 8/29 3-4periods, 9/5,9/12 3-5periods	Target year	Graduate students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>(授業の概要・目的)</p> <p>経済活動を支える手段として「知的財産」および「知的財産権」（以下まとめて「知財」という）は、重要なファクターとなっている。</p> <p>「知財」は、ライバル企業による模倣の制止（侵害訴訟）だけでなく、企業間の協力（ライセンス、パテント・プール）、研究開発力向上（職務発明制度）などの面で利用され、企業の競争力を高めるための手段として活用されている。また、大学もその研究成果の社会実装に向けて、企業との共同研究、ベンチャー企業育成などに取り組んでいるが、こうした活動において「知財」ルールをうまく取り決めないと将来の研究活動に制限をうけるリスクが生じる。</p> <p>本授業では、「知財」についての基本的知識とともに、企業や大学の具体的な活動事例に基づきながら、「知財」の活用方法についての考え方を習得することを目的とする。</p> <p>「知的財産」とは、（１）発明、考案、植物新品種、意匠、著作物など、人間の創造的活動により生み出されるもの、（２）商標、商号その他の事業活動に用いられる商品または役務を表示するもの、および（３）営業秘密その他の事業活動に有用な技術上または営業上の情報をいう。</p> <p>「知的財産権」とは、特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利または法律上保護される利益に係る権利をいう。</p>							
[Course objectives]							
<p>本講座では、知的財産について予備知識の無い大学院生が、知的財産の概要、権利取得や知財契約の種類・考え方についての基礎的な知識を習得し、今後知的財産を活用していく上で必要な、知財戦略の基本的な考え方や、先行技術の検索方法等、具体的な活用方法について理解を深めることを目的とする。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>(授業計画と内容)</p> <p>知的財産の概要（１回）</p> <p>知的財産とは発明やデザインなどの無形資産であり、特許権、著作権、意匠権などの法的権利によって保護される。知的財産を概観しその種類や役割を検討する。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 知的財産(2)</div>							

知的財産(2)

権利取得や知財契約の種類と考え方(1回)

異なる種類の知的財産権の取得方法(特許出願、商標登録など)と、それらを管理するための契約、権利取得の戦略的な考え方や契約における法的・商業的要因について論じる。

特許権と知財戦略、ライセンス交渉(1回)

特許権の基本、特許取得プロセス、および特許を中心とした知的財産戦略に重点を置き、ライセンス契約における主要な要素、価格設定、そして利害関係者間の交渉について検討する。

先行技術情報検索手法についての基礎的な知識(1回)

特許出願の前に重要な、データベースの使用、検索キーワードの選定、及び検索結果の分析方法などの先行技術検索の方法について解説する。

ケース分析(1回)

知的財産の保護や活用の事例を取り上げてグループ討議を行い、課題や論点の整理を行う。

ベンチャー、大学における知財活用(1回)

ベンチャー企業や大学がどのように知的財産を活用しているか紹介する。研究成果の商業化、スタートアップにおける知財戦略、特許ポートフォリオなどについて議論する。

ビジネスにおける意匠権・商標権・著作権の活用(1回)

意匠権、商標権、著作権の概要を解説し、ビジネスにおける各権利の保護と活用の事例、争いの事例などを紹介する。

イノベーションのための特許情報の活用(1回)

特許情報は、技術トレンド、競合他社の活動、および新たな技術の可能性を理解するのに有用である。特許情報を活用して新しいビジネス機会を探索する方法について考察する。

(授業日程)

第一回 8月29日(金)3限、4限、上記 (河端)

第二回 9月5日(金)3限、4限、5限、上記 (河端)

第三回 9月12日(金)3限、4限、5限、上記 (阿部、佐上、楠浦)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

レポート:60% (第二回、第三回終了後に出題)

授業参加・貢献(出席および授業中のミニクイズ、質問・発言、講義内における討論などをもとに総合的に評価する):40%

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

(Related URL)

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>(産官学連携本部のアントレプレナーシップ人材育成プログラム、セミナー等の情報、起業相談等についてはこちらを参照)

[Study outside of class (preparation and review)]

別途指示する。

Continue to 知的財産(3)

知的財産(3)

[Other information (office hours, etc.)]

関連科目
アントレプレナーシップ全般
大学院共通科目
「アントレプレナーシップ入門」
「アントレプレナーシップ演習」

本科目は大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ受講することも可能です。